九州建設情報社

九州地整、今月４日に「ｉ－Construction 産学官連携会議」を開催
建設現場の生産性向上へ討議

国交省九州地方整備局は、建設現場の生産性向上や魅力ある現場づくりを目指す「令和８年度第１回ｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎ産学官連携会議」を１１月４日（水）に福岡市内で開催する。産・学・官が一体となって情報を共有し、今後の行動方針やロードマップの作成について討議を行う。

同会議は、九州地域におけるｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎの発展および推進を目的に設置された対話の場。当日は九州大学や九州国際大学の有識者をはじめ、行政機関、建設関係団体などの幹部が出席。会議では「ｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎ推進の行動計画２０２３」の評価や生産性の現状確認を行うほか、省人化やＩＣＴ化を加速する「ｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎ２．０」についての紹介、目標年度に向けたロードマップ作成・アンケート実施に関する討議が予定されている。また、各団体の最新の取り組み共有や「ＩＣＴ施工事例集」についての報告も行われる。

開催概要は以下の通り。

○日時：令和８年１１月４日（水）１３：３０～１６：００
○場所：ＯＨＩ八重洲博多ビル１１階ホールＡ（福岡市博多区博多駅東２－１８－３０）
○主な出席者
・学：九州大学（三谷教授）、九州国際大学（水井教授）
・官：九州地方整備局、九州各県、政令指定都市特殊法人等：水資源機構、ＮＥＸＣＯ西日本、福岡北九州高速道路公社
・産（関係団体）：日本建設業連合会九州支部、九州建設業協会など業界各種団体

令和８年度第１回ｉ－Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎ産学官連携会議